

近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。



明治三十一年

土木關係書目類編綴

耶麻郡駒形村役場

朱書

明治五年丁巳十月

附屬員田田田

村長

第一村

町役

收入役

別紙に記す所を市上申す可

なり

明治二年一月

水害表に達之係り上申

明治五年八月丁巳申第二十七号達之係り

年水害表に親し知別表に達之係り

此後及上申す可也

明治三十二年丁酉夏

沛署名

長

天

水害長報告期、本月廿三日有之、是日、
幸、雨、霽、し、期、日、内、雨、報、告、相、成、す、
期、日、失、し、却、り、休、面、三、毛、相、関、し、不、都、合、二、差、
爲、多、所、注、意、期、日、德、三、九、楊、作、鼓、失、相、成、
爲、合、は、其、々、に、合、ふ、
以、於、三、十、二、年、一、月、六、日、
所、海、報、三、毛、角、四、日、失、し、
駒形村役場

駒形村役場



明治三十二年七月

消暑名

君長

天

駒形

世
一
八

川陸破損	堤防	雜種地	耕地	建築物	家畜	名	堂島川 大蘆川
用惡水路破損	毀切	其地	生毛、損失	流失、破損、浸水	死	死	流域水害表
個	延	全	全	全	軒	七	七
所	長			判	數	傷	補
七	四二〇		五一九、九〇〇	五九、五〇〇			負
			三三〇七				數
							損
							失
							價
							格
二、九〇〇、〇〇〇	一、四七〇、〇〇〇		三、六四〇、〇〇〇	五、七四三、〇〇〇			賜 形村
			一、二二〇、〇〇〇				

明
治
三
十
年

駟形村

奠

数

損失價格

真死名

死

家
主

建
物

流失及崩潰
破損及浸水

𧈧

刑

五九五日

五七三〇〇〇

耕地

年李荒
生毛，損矢

全 全

五十一
五十九
九〇日

1000
1000

難
煙
池

宅地

1	1
---	---

7

卷之六

其
他

主

天

1

堤防

欽所
所

延立國

下 是

३३३

一四九

用急水路

換

气促

所

七

二九〇〇〇〇

提	明治三年八月四日、雨面翌々、至リ俄然車軸ヲ流タタリ、墓面トナリ、諸川洪水水勢猛烈トナリ、堂島川及大蓋川殊ニ甚シリ堤防決潰ノ為メ、大ニ水浸至全橋、至中屋沢、至中世ノ田畑ハ全砂埋没スル所トナリ、就中浸水ノ多野茅ヒナリ、道路橋梁等モ流久及破損ヲ生シ前記ノ流損ヲ見ルニ至リタリ	道 路 橋 梁 波 止 場 破 損 雜 種 鐘 流 損	破 損 流 失 個 所 延 長	四 七 〇 〇 大 三 七 六 〇 〇 五 五 〇 〇 〇
損 耗 代 價 通 計	西洋形風帆船 日本形五才若以上 五十石以下 五十石以下 風帆船 蒸汽船	延 長 所 大	一 四 八 〇 〇 〇 〇 〇	

若越鉄道停車場位置、以テ稟請
若越鉄道本設之義ニ当地方ノ利害
得之ニ係ルハ多ク、間茲ニ精神
ヲ懲ニ居ルモ、援メテ請願ノ結果其
功空ビララス、今ヤ工事着手ノ榮ヲ
見ルニ至リシハ、地方人民ノ景ヲ満足スル
惠アリ、而シテ停車場位置ノ如キハ物
貨輻湊ノ地ヲ以テ撰定セラルハ、敢テ我
々人民ノ慍ヲ俟タル次第ニ有之假使然
ニ豈計ニヤ、本郡磐梯村大字地田ニ

朱書

橋	道路	破損	延長	四七〇	五五〇〇〇〇
梁	流	失	個	所	大
毀	損	全			

指是セウレル却果シテ然ルヤニ四方ヨリ
 カ運搬ノ便ナク至ル小委細々村大
 字大古字入倉惣代人ヨリ送達ノ通リニ
 シテ其不便実ニ甚シク之ニ代フルニ全村大古
 大古字入倉部店字千束刈及十二所
 ヲシテ搬送セラルニ其群及河沼郡ノ
 三本ハ東京其市街ハノ便ニ而臨地方
 メ此更カノ集古兵ニシテ大古字便利ヲ得
 東下ニ市ノ地中ニ只利便哉得
 ルカラス更ニ市ノ地中ト考

此等古字ノ以て更ニ市ノ上ニ注ルカ指
 是ニ成ルカ故ニ其市街ト云

明治元年ノ月ナニ

形麻郡男用村文王王五合五合人

- 河内小古
- 小林登義雄
- 齊原常次郎
- 大橋長経男
- 大竹勇吉
- 木村次平
- 大川幸平

橋	道
梁	路
毀	破
流	損
失	延
個	所
長	

四
七
〇

三七六〇〇〇
五五〇〇〇

山内陸十郎
高松陸吉
鈴木市之助
物江幸三
鈴木彦松
中澤芳郎
平塚泰八

麻郡野形村長石川丈八
福島縣耶麻郡野形村助役平塚春八

指令常甲第六〇〇

明治三十年四月廿八日願用水路修築費
耶麻郡駒形村役場
補助件詮議及ヒ難シ

補助ノ件詮議及ヒ難シ
明治三十二年二月三日
福島縣知事安樂兼道

卷一百一十五

朱書

明治三十二年正月末八日

附屬員河日暮古

村長

第一科

助校

收入役

明志費以下支布、係六議費取額、

沛苗王域可格乎

駒込三子五号木

道路樛梁其危事矣誰一保身上帝

明倫彙編
家範典
卷一百一十五

費以下支弁之係道路樁梁其他事實取辦

處刑試ノ通々条此處上申也

黟
形
村

— 11 —

一
一
八
九

明治三十五年三月

市署 名

石澤兵衛殿

里道ノ坪数及延長

十二月三十一日現在

村名	坪数	延長
駒形村	六三八八坪	二九四三

里道新開修繕ノ坪数

明治二十九年 度

村名	新開	修繕
駒形村	一坪	五八三八坪

里道ノ新開修繕費

明治二十九年 度

村名	新開	修繕
駒形村	一坪	一一一五坪

橋梁ノ個数及坪数

十二月三十一日現在

村名	個数	坪数
駒形村	一	一一八坪

[illegible][illegible]

上水ノ新築修繕ノ箇所及費金

明治二十九年度

一 用水溝渠修繕費金 四百四拾五圓
 二 放水溝渠修繕費金 十二圓
 右之通相違無之候也

明治二十九年二月 日

作是通長

前奉章三郎

駒形村長石川文八殿

共議費取額書

一 里道修繕坪數六百九拾五坪

此費要用金 六圓

一 橋梁新架之換坪數四坪

此費要用金 七圓九拾五

新架 四個 所

一 橋梁修繕坪數九坪

此費要用金 四圓五拾五

修繕 九個 所

一 堤防修繕及築造坪數七坪

此費要用金 七圓八拾五

一 用水堰修繕費金 四拾五圓五拾五

上水ノ新築修繕ノ箇所及費金

明治二十九年度

一用水溝渠修繕費金三月五拾元

一放水溝渠修繕費金壹月五拾元

右之通相違無之候也

南屋敷 退長

明治二十九年九月九日

須田善吉

駒形村長石川文八殿

水溝渠取調書

一用水溝渠修繕費金四百六拾元

此費用金二拾八圓

一放水溝渠修繕費金四百六拾元

此費用金二拾八圓

一用水溝渠修繕費金四百六拾元

此費用金二拾八圓

一放水溝渠修繕費金四百六拾元

此費用金二拾八圓

一用水溝渠修繕費金四百六拾元

朱書

上水ノ新築修繕ノ箇所及費金

明治二十九年度

相模國町麻郡駿河村役場

一 用水溝渠修繕費金 北町上ノ七町末 四
 一 放水溝渠修繕費金 十一 月
 右ノ通相違欠之候也

長

明治三十二年二月廿三日

宣海多印子

駒形村長名川大八殿

共議費取額書

一 里道修繕坪数 六百坪

此費用金 拾五円

一 橋梁新架之換坪数 四坪

此費用金 参拾円

一 橋梁修繕坪数 三坪

此費用金 叁円

一 堤防修繕及築造坪数 拾坪

此費用金 参拾五円

一 用水堰埤修繕費金 四拾五円

用

新築 橋梁二個 所 半中
 換 二個 所 半中
 修繕 一個 所 半中

朱書

上水ノ新築修繕ノ箇所及費金

明治二十九年度

一 用水溝渠修繕費金 七月五拾錢
 一 放水溝渠修繕費金 十月
 右之通相違失之候也

明治三十年二月廿日

山田徳十郎

駒形村長石川丈八殿

共議費取額書

一 里道修繕坪数 百二拾坪
 此費用金 拾四圓

一 橋梁新架之換坪数 拾坪
 此費用金 四圓

兼修二箇所

一 橋梁修繕坪数 四坪
 此費用金 拾圓
 修繕四箇所

一 堤防修繕及築造坪数 十
 此費用金

一 用水堰埦修繕費金 拾五圓

同

上水ノ新築修繕ノ箇所及費金

明治二十九年度

一用水溝渠修繕費金九月

一放水溝渠修繕費金

右之通相違欠之候也

明治二十九年二月廿五日

深澤 長

手帳 惣 吉良

駒形村長石川文八殿

外議費取廻書

一里道修繕坪数千五百五十坪

此費用金共計四百八拾元

一橋梁新架之換坪数三坪

此費用金計四百五拾元

一橋梁修繕坪数計四百坪

此費用金計四百五拾七元

一堤防修繕及築造坪数

此費用金計十一元

一用水堰築修繕費金六拾五元八拾元

新架三個所
築造三個所

修繕三個所

上水ノ新築修繕ノ箇所及費金

明治二十九年度

一用水溝渠修繕費金 廿四元
一放水溝渠修繕費金 四元九角
右之通相違失之候也

明治三十二年二月廿日

中屋敷正長

小林登三義雄

駒形村長石川丈八殿

共議費取額書

一里道修繕坪数

二千二百五拾坪

此費用金 拾五元七拾五匁

一橋梁新架之換坪数 十三

新架 箇所
架換 箇所

此費用金

一橋梁修繕坪数

修繕 箇所

此費用金 三拾元

一堤防修繕及築造坪数 十三

此費用金

一用水堰堰修繕費金 拾五元八拾五匁

上水ノ新築修繕ノ箇所及費金

明治二十九年度

一用水溝渠修繕費金 寺岡分所 内
一放水溝渠修繕費金 十三
右之通相違無之候也

出長代り

明治三十一年二月廿二日

吉打甚古

駒形村長石川丈八殿

共議費取調書

一里道修繕坪数 十四町坪

此費用金 控五町五坪

一橋梁新架之換坪数 三坪

此費用金 控同

一橋梁修繕坪数 五坪五坪

此費用金 控五坪五坪

一堤防修繕及築造坪数 八坪三坪

此費用金 八坪九坪五坪

一用水堰修繕費金 控五町七坪

上水ノ新築修繕ノ箇所及費金

明治二十九年度

一用水溝渠修繕費金

計七口

一放水溝渠修繕費金

八月

右之通相違失之候也

正長

明治二十九年二月廿日

鈴木市三郎

駒形村長石川丈八殿

共議費取親書

一里道修繕坪数四ヶ七坪

此費用金 在八月

一橋梁新架之換坪数

此費用金 四回五若升

一橋梁修繕坪数八坪

此費用金 在八月

一堤防修繕及築造坪数五坪

此費用金 在五月

一用水堰棟修繕費金四拾七月

用

上水ノ新築修繕ノ箇所及費金

明治二十九年度

一用水溝渠修繕費金七月

一放水溝渠修繕費金十月

右之通相違奥之候也

東常世 堤長

明治三十九年二月廿日

大井 勘吉

各戸費八分

駒形村長石川丈八殿

共議費取額書

一里道修繕坪数 卅十八百坪

此費用金 卅五円

一橋梁新築之換坪数 拾五坪

此費用金 参円

新築 個所
架換 個所

一橋梁修繕坪数 拾九坪

此費用金 卅五円

修繕 個所

一堤防修繕及築造坪数 ナシ

此費用金

一用水堰埦修繕費金九拾六円四角六雪用

上水ノ新築修繕ノ箇所及費金

明治二十九年度

一用水溝渠修繕費金

一放水溝渠修繕費金

右之通相違無之候也

明治三十二年二月廿八日

金村長

物江喜



六回八元五匁
北三月八元八匁

駒形村長石川丈八殿

共議費取調書

一里道修繕坪数

三百五十六坪

此費用金

三十円

一橋梁新架之換坪数

十三

此費用金

新架 個 所
架 個 所

一橋梁修繕坪数

七十坪

此費用金

五円

修繕 二個 所

一堤防修繕及築造坪数

十坪

此費用金

一用水堰修繕費金

三十五円

上水ノ新築修繕ノ箇所及費金

明治二十九年度

一用水溝渠修繕費金

本五回

一放水溝渠修繕費金

十三回

右之通相違奥之候也

明治二十九年二月廿六日

下座 長代

出方 除方

駒形村長石川丈八殿

共議費取親書

一里道修繕坪数百廿五坪

此費用金五月五拾五

一橋梁新架之樑坪数

此費用金五月五拾五

一橋梁修繕坪数拾五坪

此費用金三月五拾五

一堤防修繕及築造坪数

此費用金

一用水堰煉修繕費金 若六月八拾五

新架 個所
架 二個所

修繕 五個所

一開水溝渠修繕費金
一放水溝渠修繕費金
右之通相遺失之保也

明治三十二年二月八日

栗村熊吉

駒形村長石川文八殿

共修費取振書

一里道修繕費四百五十元

共費用金一千四百五十元

一橋梁修繕費四百元

橋下三丁町

共費用金八百元

一用水地修繕費四百八十元

古之田本吉江之修

明治三十一年二月廿六日 土橋美次郎

龍馬書下

駒形村長石川大八殿

第三二号
三月十一日

工乙房主ニヨリ

所共要以下支弁、係人通路橋梁其他事、
実用、去月分限り、石川大八殿、
自處、于今、御承運、之、以後、斗、上、是、
ろ、之、家、主、之、心、を、お、も、い、な、さ、し、ま、し、
め、は、し、ま、し、ま、し、ま、し、ま、し、ま、し、

駒形村長石川大八殿



駒形村長石川大八殿

助成不刊之文

三
上

駒形村長石川大八殿

朱書

町指令按
耶麻群助形村大字常世

荒木興三郎

外七名

明治三十一年五月廿二日同本村助形堤沿水
工事費トシテ本縣地方税補貼トシテ金
四拾九圓八本々一月廿二日本村頭惣代人大竹
助吉徳田善吉大川専三郎之三名下渡
タル義ト心得ハシ

明治三十一年五月廿二日

耶麻群助形村長名川丈八

耶麻群助形村

耶麻群助形村

朱書

刀沽字第六百五

附屬真酒白月古香

村長

收入後

助役

訓令甲子年一二月間一專里道路可

項子新之德中越之有稽寧泉銀茶

市上申五成

駒込三子一子

一等里道點調卷之儀、分上甲

一孝里道詣詔堂上入闕之儀甲子一三子訓令

極つ別表之通取調々些々及上申也

明倫彙編

沛署叙

朱書

長家

一、等里道路調查表

名	經	地	未	住	貨	通
稱	過	方			物	過
里道二年	町村	人口	馬車	牛馬	荷車	人力車
東街道	町形	金橋	一六	一六	一六	一六
水澤街道	台	三二七四八	二五五	五	一	一
計		三五四二七〇六	三七三	二一	一	一

備考

戶數人只最近，戶計予以取調候

郡役所訓令甲芽二三號

町村役場

一等里道路調查上入用之吳条別表、
事項精密取調未之廿五日限、差出

スヘシ

三十五年七月八日

福島縣耶麻郡長石澤兵吾



名稱

[illegible]

備考

戸數人口ハ最近ノ統計ヲ記載スモノトス

旅客諸軍寺一周年間より記載せしモノ
 通行ノ概畧其他ノ筆出例後金ハ三ノ里通ノ通馬ノ三ノ大ニアリ
 甲字ニ重敷四里ニシテ一里平均二十人ナルハコトニ四里ヲ集シ八千
 人トシテ字ハ里敷二里ニシテ一里平均二十人ナルトキハコトニ二里
 ヲ集シ四千八十人トシ丙字ハ里程十八丁ニシテ一里平均二十人
 ハスルハコトニ半敷千人ヲ以テシ以上三ノ大ニ合人負老万
 三千人ヲ合里敷六里半ニ集シ一里平均二十人トス
 半馬車其他モコノ例ニ準ス
 里敷丁位ニ止ム

自著詳頼

耶麻郡駒形村

大塩川砂耶

大字次渡字向三十川

一堤防長五拾間

表裏尾割五法

直高六分

以立坪四拾五坪

但別紙内訳書之南

本堤防之系ハ後来ヨリ存在し字向三十川田畑七所ハ災
 難ノ浸水ヲ防ミ来リ候外去ハル三ノ年中大洪水ノ際長
 五拾間ノ内大半破壊シ爲メ出水ノ即ハ非常ノ水害シ
 被メ作物ノ損害不似候付今般腹係者ニ於テ前記之南
 堤防別紙内譯書之南自費ヲ以テ著請仁度候内自著
 請之義御沙角被成下度以段奉執上座也

明治三十四年七月

即麻郡駒形村大字窪野人統代

鈴木市三郎

右郡城堂村大字十有根

隣地保証人手代木友次郎

福島縣耶麻郡駒形村長角丈八

福島縣知事山田春三殿

堤防工事内譯書

即麻郡駒形村

大塩川付助

大字窪野字向三十刈

一堤防長五拾間

此立坪四拾貳坪

取工費重

内譯

工種名称	材料	工事名材料ノ形状	個數	數量	單位	單價	金額	摘	要
堤防築立	真土	長森間	馬路三尺	四〇〇	立坪	一五〇	六〇〇〇	安用ノ共	
	草張	長森間	馬路三尺	三五〇	坪坪	一〇〇	三五〇〇	張音律ノモ	
計							八五〇〇		

[illegible]

三

朱書

明治五年七月十五日

村長

附原良清同善哉
收入役

吾等小洲合衆第一七聚ヲ以テ達ニ至ルニ至リ
古ノ御幸ニ至ルニ至リ

達ニ至ルニ至リ

河川ノ堤塘ハ固ク保テ置ルニ於テ之ノ力保護ニ注意スベキ
ハ勿論ニ然レ堤塘ノ裏ニ接シセル箇所ノ開墾ニ又ハ根敷
ノ幾分ヲ設シテ新穀シメタリハ用水路等ヲ設ケル者有之
実ニ越々等ノ作業ハ堤塘保持上ニ関スルヲ以テ堤塘裏
實地ノ形況ニ依リテ之ノ六間以上所ハ堤塘ノ接点ト為シ樹木

朱書

若ク設萱柵等ノ類ヲ栽培シ以テ堤塘ヲ保護スベキ旨其
勅訓令之次第モ有之矣奈談保持方地立ニ違方御取
計相成度此段中進言也
明治三十二年七月廿七

役場 宛

名正長

御中

郡役所訓令甲第一七号
河川ノ堤塘ハ関係町村部落ニ於テモ力保護ニ注
意スベキハ勿論ニ候處堤塘ノ裏ニ接近セル佃所ノ閑
地ニ又ハ根敷ノ幾分ヲ浸シテ耕紉シ若クハ用水
路等ヲ設クル者有之矣趣右等ノ作業ハ堤塘保
持上ニ関スルヲ以テ堤塘裏實地ノ形況ニ依リ少ク
モ五六間以上ノ所ハ堤塘ノ控地ト為シ樹木若クハ
設萱柵等ノ類ヲ栽培シ以テ堤塘ヲ保護ス
ベキ旨其勅訓令又次第モ有之矣奈談保持
ニ屬獎勵セラルベシ
明治三十二年七月廿七日 耶麻郡長石澤兵吾

おの、村長さんへ



此係...
 明治三十二年七月十五日
 駒形村文書

砂礫河下之係
 当區内亭三又川原砂礫河下願人河
 沼郡堂嶋市大茅福島大竹徳故今在砂
 礫河下願度越申出付區内取調之
 者即波分論隣地至三三三三故障等一切
 之水系係于部渡初代人及隣地至二回
 るト、以テ此正是上申也

耶麻部

明治廿二年七月十五日

武安島市

鈴木七

合為今字據地之

精皇親管下

鈴木栄吉

武友勝三郎

宇部初四郎

宇賀重一

鈴木 幸七

高木 作治

高木 源八

武藤 好杰

芳賀 吾市

武藤 栄多

鈴木 勇八

佐藤 五郎

鈴木 清

勲歌多良
石川 文八郎

高木 文治郎

高木 淳吉

岩沢 建三郎

武藤 清造

武藤 子治郎

武藤 新治郎

朱書

福島縣書

駒形村書

石川丈八殿

外

里通庵寺線拂除方ノ儀係ノ通年日
十ノ解ノ拂除執力ノ濟ノ上ノ屬方
校場ニ沛テテテテテテテテテテテ
也

名正長沛年

右等事

才在云々
才在云々
才在云々

西平堂長	宮澤芳今平
東京世ハ	大竹易光
白中ハ	物口常己
寺山ハ	飯永松光
今松ハ	山崎喜八
南多志ハ	原白良光
深津ハ	平盛然
井戸ハ	大川宗幸

首級採得期限

一縣道及里道一尋採得期限方係第一案
二項より八月十月より五月廿五日迄採得期限
行爲上郡役所、教出云々トス

朱書

明治三十二年八月

附屬莫河善吉

村長

收入稅

助役

五ノ第一八九四号ヲ以テ割テ通シ越シ

榮光師道可於乎

達二三四五
樓

里道一帯線中其部在地内道路橋梁修繕工
事左表ノケ所執り主事トナシ地元託たり之籍
負相年ニ妻者其節ヨリ中越美奈總代人本
役所工出願美様御達相成度比事ト進メ也

明治三十二年八月七日

役場 名

市川

之橋

延長
江

石巻

切立部後道路修繕

東岸橋以西暗溝修繕

里道一帯橋中賣村地内道路橋梁修
繕工事左記ノケ所執行矣付テ地元
諸ノ請買相合ニ其奈惣代人当麻ハ
出頭賣旗所ニ付相成度此段及
明延三十二年七月三十日

郵政省書吏角田昇之輔

駒形村長石川丈八殿

左記

切立前後道路修繕

東岸橋以西暗溝修繕

主九六一

東海道沿線の風景

北五河の風景

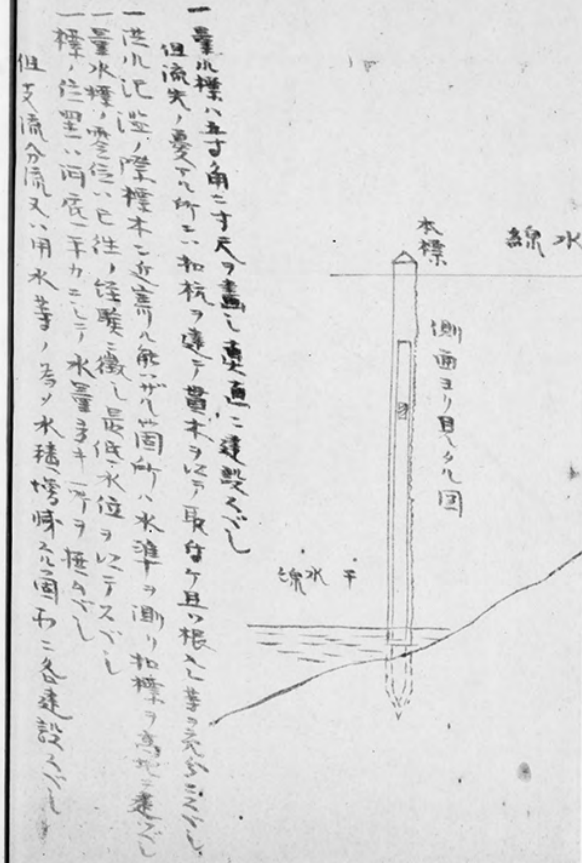
昭和十九年八月八日

昭和十九年八月八日
東海道沿線の風景
北五河の風景
昭和十九年八月八日

第九三
三八九

昭和十九年八月八日
東海道沿線の風景
北五河の風景
昭和十九年八月八日

朱書



明治二十一年八月五日

附屬員河田喜吉

村長

收入役

助役

在、中、達、五、成、可、カ、字

明治二十四年七月

村

里道、荒、等、線、標、等、除、方、義、ニ、付、去、年、中、集、會、ノ、
 際、及、中、候、議、事、ニ、於、テ、今、年、中、掃、除、浦、局、出、無、之、甚、
 々、不、都合、ナ、矣、余、等、至、急、掃、除、施、行、シ、其、旨、届、出、
 相、成、度、此、段、申、進、候、也、
 明治二十一年八月五日

役場 名

朱書

西宮世休屋田中
東宮世區長

御中

明治二十八年八月五日

附原真治田善吉

村長

收入役

助役

助役亦訓令甲第一八号ヲ以テ利便道
全通ニ依リ新田道一市線掃除済ニ
シテ原瓦ノ報告ニ成可成ナリ

明治二十八年八月五日

里道危等線掃除済之儀報告

去月三十日付甲第一八号ヲ以テ訓令相成ヌル縣
道及里道危等線掃除方法ニ據リ本月迄旨ヲ以テ

耶麻郡長石澤無吾殿

駒取村長

九口
五八六

道路橋梁支那規則取松千餘
二月乙第九四号通牒縣道及里道
線帶除方法三查未
九月通牒縣道執行濟上報告
明治三十九年七月二十日

麻郡長石澤真書

明治三十二年八月八日
 駒形村大字五右衛門屋敷區長
 須田善吉
 第五四号
 明治三十二年八月八日
 駒形村大字五右衛門屋敷區長
 須田善吉
 第五四号

掃除浦届

里道尾等線掃除方之儀御達之依り当部内
 受持區域悉皆掃除施行致美余此段及
 御届候也

明治三十二年八月八日

駒形村大字五右衛門屋敷區長

須田善吉

之五右衛門屋敷區長

玉保善吉

駒形村長石川大八殿

掃除所 届

里道一等線掃除ノ爲本月
大工ヲ以テ悉皆執行 所ニ
以テ段及所 届

中居友巳長

明治三十二年八月十日

芳賀子重 左

東常世長

大竹 駒吉

明治三十二年八月十日

耶麻郡羽村本石川丈八殿

掃除淋雨

里通臺等銀掃除方之儀相達候了
当部内受持區域悉皆掃除施行致矣
此段及以用也

明治十年八月十日

羽形村金信堂三修己長

山田老八

羽形本石川丈八殿

松子松子

羽形本石川丈八殿

棉除瀧届

里道尾等線棉除方之儀御達、依、当
部内受持限、悉皆棉除施、
、美奈此段及御届候也

耶麻郡大字中屋澤安屋正長

明治三十五年八月十四日

物江幸二

駒形村長石川丈八殿

砂礫無代價御拂下願
岩代國耶麻郡駒形村大字字三及川原
枝葉川筋

一川延長 概間隔同深廿三足

此砂礫立坪

此搬出期限明治三十二年七月三十一日迄若今月間

右者岩越鉄道線路敷砂利之相用度候ニ付岩代價三御拂
下被成下度若之官ノ御入用十時ハ御許可期限内ト至御
引上相成候凡若之力多ク候間願意御許被成下度別
紙図面相添紙代連署此段奉願候也

河沼郡堂島村大字福島甲別格三番地

明治三十二年七月十日

耶麻郡駒形村大字字

大竹 渡

次



福島縣管下

昨地部諸係人

武藤孫市

主 即主科大享主

主 主 主

鈴木長七

福島縣郡縣郡縣村長石川大八代

主 即蓋川村総代人

津田貞次郎

主 主 主

田島貞次郎

福島縣知事山田春三殿

福島縣郡縣郡縣村長石川大八

福島縣知事山田春三殿

福島縣知事山田春三殿

福島縣知事山田春三殿

福島縣知事山田春三殿

福島縣知事山田春三殿

福島縣知事山田春三殿

○ ○ ○ ○ ○

福島縣知事山田春三殿

福島縣知事山田春三殿

福島縣知事 山田春三殿

福島縣郡縣助形村長角丈人

角丈人作

福島縣知事 山田春三殿

砂礫要代價拂下願図面

耶麻郡 益川村 総代人

津田貞次郎

角丈人作

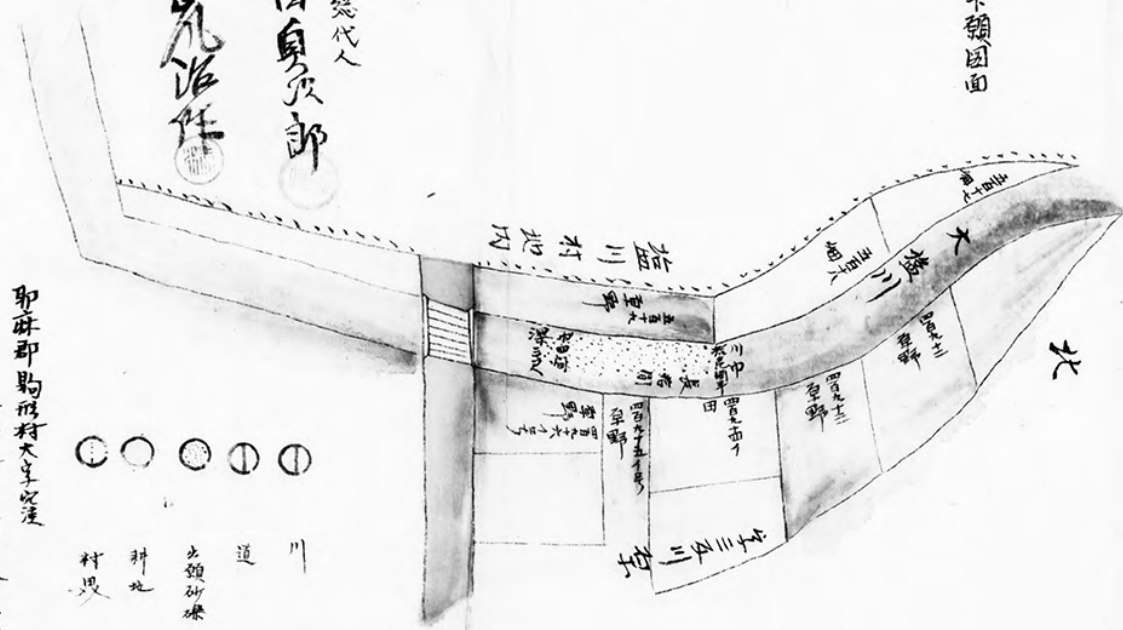
福島縣郡縣助形村長角丈人

耶麻郡助形村大字 宮達

総代人 武藤孫市

鈴木長七

福島縣郡縣助形村長角丈人



水

川
道
土領砂礫
耕地
村界

岩越鉄道所用品倉庫運送部

所中

本年決算より九割の減額を計る

河原

岩越鉄道所用品倉庫
運送部所屬

主事 八日

大和町美田

設計書

岩越鉄道長谷地地内橋入用砂

砂を採り具積

一金五円九拾銭

四十五個買入金
但し金と金八

一金拾五円也

長谷地地内橋入
共金運送貨金積金

一金五円九拾五銭

砂を採り木橋架設
金に金と金

朱書

一 金堂内石燈上鐵

砂所ノ木ノ條百本個ノ
モノ金堂内ニ

一 金堂内鐵土一

砂所拂ノ金堂内遺棄

金堂内遺棄四月拾貳

右役斗仕候也

河沼郡金島村金福島

明治十一年八月十号

金島村役場

明治十一年八月十号

附金島村役場告示

村長

收入役

即役

慶元第ニ四八号ノノ字前ノ鐵ノ通ノ鐵ノ
五ノ條ノ金堂内遺棄ノモノ

明治十二年二月二日

水害ノ儀ノ告示

本月三日并ニ七日ノ水害ノ罹リタル災害報告方ノ
儀明治八年二月本島金島村令甲第ノ三年ノ報告
例第ノ十号ノ様式ニ依リテ告示ノ通

金島村役場

此等此等及報告也
明治三十二年九月十五日

御署名

取麻郡長石澤吾郎

應乙子二一八八

世九三

本月三日并二七日、雨日水害ニ罹リ、
況住々報告相續、如未夕災害報告、
八月五日、無天之、理上至、災害報告、
二月本縣訓令甲第三号、報告例第十四
号、様式ニ依リ至急、以取運、以至、出、
變、女、段、及、照、會、候、也、
明治三十二年九月十二日

馬形村長石川正八郎

馬形村長石川正八郎



朱書

福耶永
 計
 町村九月日川矢
 町形村九月三日
 備考明治三年九月三日
 水加ワレ大森川
 傷果他ナシ

災害報
 災表
 人 牛 馬 犬 猪 魚 計 浸水
 町村九月日川矢
 町形村九月三日
 備考明治三年九月三日
 水加ワレ大森川
 傷果他ナシ

様御傳達申成度此等申迄如
明後午年八月九日

御署名

平井正長

信守松本郎

一男無名子平井道隆於平井松本郎

二二
三十九

土乙第ニ三七一ノ
里通一寺賣村地内主託ノ所ニ奉
二ノ一ノ地元ノ請負相合ノ人
直ニ奉賣頭方傳達者之文由



駒形
村長 乃川武八

駒形村ニ金川道路橋梁修儀ニ奉

朱書

通計二千金

五德

五十八

[illegible]

明倫彙編 家範典 卷一百一十五

附錄實政日善志

村長

收入後

助役

光亨二回二考うん甲直一市修程考

請復方之係他方工亦衆又牛舌照方類

三月三日五處地之清負多者登

之趣中少分古之御國多生可

能乎

易性三才一毫之

里通一尋修鑿之事請願方之像戶北元忠

朱書

入世文苑

咽流空亭弄月生

附屬頁字自五卷

村長代)

收入後

即後

少子分三八一〇年ノヲ也ノ少子分額計

表
優
中
通
之
子
見
新
文
古

沛上學士

卷之三 元祐

五木銘之針表之像乃爲上中

本館新刊
本館新刊

此則非通之學也及上中

明治三十八年三月十日村長石川丈八代
 助役御署名

君長家

土乙第三八〇号

第一三八号
 世主

本縣報告例三依り年々御報告相成度土木
 工費估計表差出期日経過ノ今日ニ至ル所
 差出無之其勘入進達之切迫ニ且其勘計注
 意更次分主有之更ニ日章ノ省主ノ所差出
 成度尤々本年三月土乙第五六六号通牒参
 照件取調相成度此致及照会候也
 明治三十八年三月十日村長石川丈八代

助役村長石川丈八代

共計三三八二五

第一三二
世年八

本月十三日
費總計表
言交王
達之
章着
及照會

明治三十二年十一月十六日
郡書記角田昇之

駒形村長石川丈八殿

土木費総計表

明治三十五年

駒形村

類

別

新築要換ノ部

労賃
材料費
町村土木費
町村東補助費
町村費
寄付金

計

協議費
合計

河

川流域

川川川

計

川川

計

測量其他雜費

合計

港

港

測量其他雜費

合計

合計

明治三十二年正月十六日

福島縣耶麻郡駒込村裏角文八代)

福島縣耶麻郡駒形村助左平次藏人

耶麻郡長石澤兵吾殿

第一 地方税町村土木費仁譯表

類
別

町村實業集報志人分
本屋有 何年屋有 計
史算 何年屋 史算

生上報告第三本表
計
本年度下行 何年度下行
內何年度 內何年度
總數 總數

本表より町村費決算報告二入に於て分
本年度合計年度計 本年度計全に補助内 町村費
向陽館費 奨励内 向陽館費 何年度之奨励内
補助 全上 曾補助過 何年度補助過

計

十

第二 寄付人又系物件相当金仁譯表

類
別

町村費決算報告ニハシカ
町村費ニ寄付町村費ニ寄付
人支相當金 物件相當金

計

全上報告に入ふ本表を以て
協議費算付 協議費算付
人支相当金 物料相当金

計

計

第三

甲 町村堂決算報告土木量中本表科目ニ適合セズ加算セザル分
目 金
料
算

科

乙水利組合會費

目町村大塚

全

頁

